



リニューアルした常設展示2F「造る」

CONTENTS

EXHIBITION 棟梁～堂宮大工の世界～

REPORT 大人気! 鉋^{かんな}削り体験

東京企画展「鋸^{かざり}」展イベントレポート

NEWS 来館者が20万人に達しました!

グッドデザイン賞を受賞しました

研究紀要第21号発行のお知らせ

SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内

「見やすくて、良かった」リニューアルオープンその後

昨年の3月21日にリニューアルオープンし、10ヶ月近く経過しました。この間約1万人の方々が来館され、また7月には開館以来の来館者20万人を達成することができました。リニューアルした常設展示の特徴は展示品を以前の半分にあたる約1000点に絞り込み、見る、触れる、嗅ぐなど、体感してより理解して頂くことに、力を注ぎました。その結果アンケート用紙に「見やすくて、良かった」と感想をのべてくださる方が多くなりました。これからも地域社会に貢献できる博物館を目指して活動してまいります。また今年には25周年の巡回展を東京、札幌、神戸、名古屋で開催する予定です。今後とも、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

EXHIBITION

6月より巡回展(全国4会場)を開催します。

竹中大工道具館開館25周年記念巡回展

棟梁 ~堂宮大工の世界~

Ⅰ時代を超えて受け継ぐもの

鍛え抜かれた技と心をもって職人集団を束ね、数百年の風雪に耐える寺院や神社を築きあげる堂宮の大工棟梁。千年の伝統を受け継ぎ、難事業に信念を持って立ち向かうその姿は、変動の激しい現代社会において、より魅力的に映ります。本展では堂宮大工棟梁の仕事と人物像を迫力の模型や貴重な遺品、映像などで紹介します。また竹中大工道具館開館25周年記念事業として、下記の4会場を巡回いたします。ご期待下さい。

Ⅱ展示内容

◎第1部 堂宮大工の仕事

堂宮の大工棟梁とその弟子たちはどのような仕事をしているのか。知られざる大工仕事の様子を、迫力のある仕事場再現模型を通して紹介します。

◎第2部 堂宮大工の歴史

大工の歴史を振りかえり、古代から近現代にいたるまでの組織・技術の変遷や、歴史上の有名な棟梁に関連資料を交えながら紹介します。あわせて奈良の堂宮大工・西岡常一棟梁の技術ノートや道具を展示します。

◎第3部 映像で知る棟梁の技と心

棟梁の技や心は形として残りにくいものです。そこで、西岡常一棟梁の弟子で、現代を代表する堂宮大工・小川三夫氏と鶴工舎の仕事を新たに撮影した映像で紹介いたします。



奈良の堂宮大工・西岡常一棟梁(薬師寺西塔前で) 鶴工舎提供

◎巡回展スケジュール

東京会場 6月16日(水)~7月23日(金)
ギャラリー・エー・クワッド

札幌会場 7月30日(金)~8月29日(日)
JRタワープラニスホール

神戸会場 10月2日(土)~11月14日(日)
竹中大工道具館

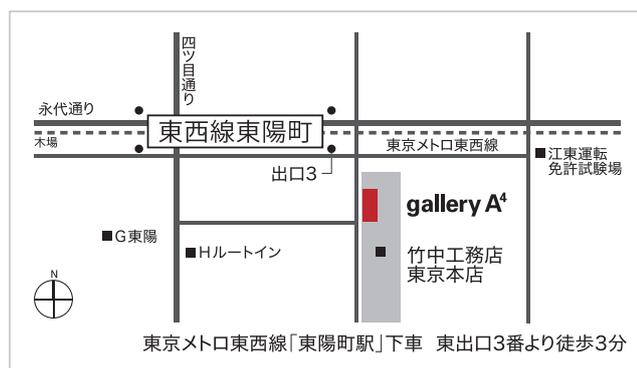
名古屋会場 11月20日(土)~12月28日(火)
トヨタテクノミュージアム産業技術記念館

※会期・会場は変更になることがあります。

Ⅰ東京会場のご案内

Gallery A⁴ (ギャラリー・エー・クワッド)

東京都江東区新砂1丁目1-1 竹中工務店東京本店1F
開場時間:10:00~18:00(日・祝日休館 最終日は17:00まで)
TEL 03-6660-6011 HP <http://www.a-quad.jp>



◎記念イベント

イベントの日時・内容は変更になることがあります

講演会 西岡常一棟梁が残したもの

講師:小川三夫(鶴工舎前店主)、建部清哲(株式会社代表取締役)
菊池恭二(社寺工舎代表)

7月16日(金) 18:00~19:30
竹中工務店東京本店2F ABホール
先着200名(入場無料・申込不要)

セミナー 信長・秀吉・家康の大工棟梁

講師:谷直樹(大阪市立大学大学院教授)
6月25日(金) 18:00~19:30
竹中工務店東京本店2F ABホール
先着200名(入場無料・申込不要)

実演・体験教室 堂宮大工の技

講師:北村智則(当館 技能員)
6月19日(土)、7月3日(土) 13:30~15:00
竹中工務店東京本店1F 特設会場
先着30名(参加無料・申込不要)
内容:木の香り、鋸と鉋、ヤリガンナ削り

REPORT

！大人気！^{かな}鉋削り体験

道具館では、ご来館いただいた方々に道具についての理解を深めていただくために「鉋削り体験」を実施しています。リニューアルオープン後、体験の機会をさらに増やしました。日本の台鉋のほか、海外の鉋や昔のヤリガンナなど、普段なじみの少ない珍しい道具も準備しています。お子様はもちろん、大人の方も目を輝かせて大工さんの技に挑戦しています！異なる樹種の木を削る「木の香り体験」も大好評。初心者の方でも当館技能員が丁寧に指導しますので、どうぞお気軽にご参加下さい。

場所：竹中大工道具館 地下1階 手入れ室

日時：不定期※（土日祝日） 14:00～16:00

※開催日については当館ホームページにてご確認ください、電話にてお問合せください。



ヤリガンナ削り実演の様子

！東京企画展「^{かざり}鏝」イベントレポート

昨夏、東京企画展「鏝—建築装飾にみる金工技法—」の開催を記念して、鏝師・鈴木正男氏のご指導のもと、金具に模様を彫る「彫金」の体験教室が開催されました。小さな丸い粒々「魚々子」を均一に打つ技は見た目よりずっと難しく、参加された皆さんは無我夢中で粒を打っていらっしゃいました。また、シンポジウム「鏝金具の世界—伝統の技と美を語る—」では、小林正雄氏による彫金の実演のほか、久保智康氏による講演、窪寺茂氏・久保氏・小林氏によるディスカッションが開催されました。実演では小林氏の神業のような彫金の技に、お客さん達は息をのんで見入っていました。今後も道具館では体験や実演を通して、様々な伝統の技を皆さんにお伝えしていきます。次の企画もお楽しみに！



彫金の体験教室（タガネで魚々子を打つ様子）

NEWS

！来館者が20万人に達しました！

2009年7月11日、竹中大工道具館の来館者が20万人を突破いたしました。みごと20万人目の来館者となったのは兵庫県加西市在住の吉田貢さん（83才）で、ご家族4人での来館でした。吉田さんには記念証と、記念品として刊行したばかりの「大工道具物語」の書籍・ハガキシリーズ1式、館内でも展示している木組みモデル等を贈呈いたしました。記念写真撮影後は当館館長が展示解説を行い、匠の技と心に触れていただきました。



！グッドデザイン賞を受賞しました

リニューアルオープンした大工道具館が、2009年度のグッドデザイン賞（公共・文化教育関連施設）を受賞しました。グッドデザイン賞は、デザイン力で豊かな生活を築き、産業の健全な発展を導くことを目的に、1957年に創設されました。今回の受賞は、25年の積み重ねを維持しつつ、ユニバーサルデザインと電子化という時代の要請を取り入れた建築的表情および展示内容が高く評価されたものです。



！研究紀要第21号発行のお知らせ

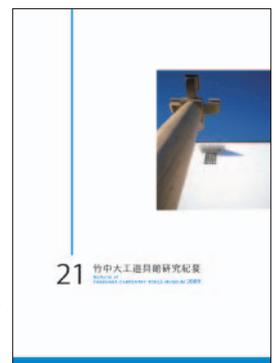
当館スタッフならびに館外の研究者による大工道具・建築技術に関する論文集です。今回は下記の3編の掲載を予定しています（3月21日発行予定）。

竹中大工道具館
研究紀要第21号（A4・500円）

〔船曳悦子〕
近現代における両刃鋸の変遷について

〔石社修一・西山マルセーロ〕
鉋の切れ味
～2008年度共同研究事業成果報告

〔渡邊晶〕
ユーラシア大陸の西と東におけるうがつ道具の歴史



SEMINAR

「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料(入館料は別途必要)

開催時間 13:30~15:00 (13:00開場)

会場 竹中大工道具館

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP (<http://dougukan.jp>)「技と心」セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

- ▷ホームページからはご本人様一人に限らせていただきます。
- ▷携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

- ①セミナー番号②お名前(フリガナ) ※参加者全員
- ③郵便番号・住所④電話番号

[返信]

あて先にご自身(代表者)の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

- ▷応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ▷入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。
- ▷締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[40] 2010年3月20日(土)(締切 2010年3月5日)

鉋の切味について

-2008年度竹中大工道具館共同研究事業成果報告-

講師:石社 修一(三条製作所石社鍛冶屋)

刃物の切れ味は「甘切れ」、「硬い」、「辛い」等という言葉で表現されますが、一般人には分かりづらいものです。そこで、鋼種別に鉋を製作して削り試験を行い、大工の阿保昭則氏、大工道具店の土田昇氏の協力を得て、切れ味がどのように変化しているのかを調査しました。大工と鍛冶の相互理解の秘密に迫ります。

[41] 2010年5月15日(土)(締切 2010年4月30日)

復元設計を通して読む古代建築のかたちと技術

講師:清水 重敦(奈良文化財研究所 景観研究室長)

平城宮大極殿の復元設計に加え、山田寺金堂、正家廃寺金堂、加守廃寺六角堂、新薬師寺金堂などの復元図を実際に描いてみて、わかってきたことが多々あります。復元設計を通してみた古代建築のかたちの根拠、技術上の視点をお話していただきます。

[42] 2010年7月17日(土)(締切 2010年7月2日)

石器でつくる大型建築 縄文時代の技術と道具

講師:渡邊 晶(当館 学芸部長・主席研究員)

木の建築の部材相互を、仕口によって組み合わせる工法は、約2000年前の鉄器使用によって可能になると考えられていました。近年、その定説をさらに約2000年さかのぼらせる発見がありました。その技術の内容を紹介し、時代背景について考えます。

[43] 2010年9月18日(土)(締切 2010年9月3日)

茅葺きの歴史を探る(仮)

講師:黒坂 貴裕(奈良文化財研究所 研究員)

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30~16:30

(入場は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月26日~1月7日)

入館料 ※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方	無料	
65歳以上の方	100円	

交通案内

▷JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分 ▷JR・阪神「元町駅」徒歩10分

▷地下鉄「県庁前駅」徒歩5分

▷新幹線「新神戸駅」タクシー10分

駐車場5台(普通車)あります。

連絡先

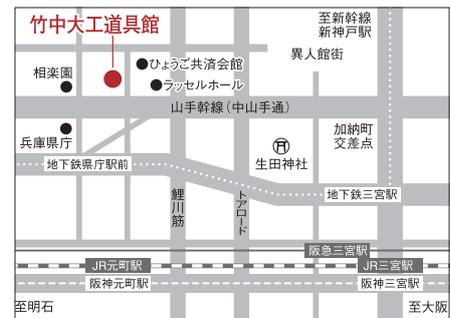
〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

TEL 078-242-0216

FAX 078-241-4713

URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい

竹中大工道具館NEWS第22号

2010年1月20日発行 / 編集・発行:財団法人竹中大工道具館 印刷:神戸新聞総合印刷

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。©2010 Takenaka Carpentry Tools Museum